

阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



感謝祈願

このころの中に怠らず

いかなる時も唱へをるべし

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作

灰釉茶盃

「種子島」

種子島土／種子島校釉

上毛三山の龍神さま

群馬主会長 関口あつ子

聖師さまは『霊界物語』第一巻に高熊山修行の中で、「第一に有難く感じたのは水である」と口述筆記されています。また、「自分かふと空をあふぐ途端に、松の露がポトポトと雨後の風に揺られて、自分の唇辺に落ちかかった。何心なくこれを嘗めた。ただ一滴の松葉の露のその味は、甘露とも何ともたとへられぬおいしさであった」と現実的苦業として水の恩をお示し下さっています。

大本群馬主会桐生分所の床の間には、二代教主さまご染筆の「あかぎりうじん」のお軸が、風雨災害の起こりやすい季節にはお守りいただけるよう掛けられています。昭和4年、出口日出磨尊師さまが群馬にご巡教された際、赤城山、榛名山、妙義山の上毛三山の龍神さまをお祭りしようご指示なされました。それ以来、龍神祭を執行することが群馬主会のお役目と受け止めています。

赤城山は上毛三山の中でも、県のほぼ中央に位置し、日本百名山にも選ばれていて、標高は1828メートルで火山の噴火によって発生したカルデラ湖を伴う複成火山です。上毛三山の中で唯一現地参拝ができる山となっています。登山道を登って行き途中のカーブから下へ下がって行くと赤松があり、その根元に小さな石の祠が鎮座しています。祠の御神体は、二代教主さまよりお下げいただいた赤城山の形をした霊石が納められています。昭和4年から今日まで96年が経ちますが、大本弾圧の時は、数年間祭典もできなかつたそうです。そのできなかつた間の昭和22年には、カスリーン台風により赤城山麓で土石流や河川の氾濫が発生し、甚大な被害をもたらしたそうです。

その後、弾圧事件解決後は龍神祭は復活し今に至りますが、令和元年の台風19号の時などは大きなお蔭もいただきました。冒頭の『霊界物語』の聖師さまのお示しのごとく、普段から水のご恩に感謝しながら、これからも雨風水害の災いなく関東の水がめとしてお守り下さいとお祈りいたします。



3月の東光苑月次祭 春季合同慰霊祭を執行

3月の東光苑月次祭・交通安全祈願祭並びに春季合同慰霊祭は3月9日午前10時30分から、齋主・橋本伸作東京宣教センター長のものと執行され、190人が参拝した。

II写真左。祭員は千葉主会が、伶人は二絃の会関東支部、大本神諭拝読は佐藤良弘福島主会長が担当。東光庵では、添釜がかけられ、東京主会が担当した。

祭典後、橋本センター長があいさつ。続いて、人類愛善会を代表して宮下愛善同会副会長（NPO法人人類愛善会インターナショナル理事長）があいさつを述べた。

また、直会後、2階講座室で第1回東光苑ミニ講話が行われ、「食



品3つのマメ知識」と題し、宮下愛善NPO法人人類愛善会インターナショナル理事長が講師を務めた。宮下理事長は講話で、日本の食の安全性がないがしろにされている現状や、安全な食の選び方などを解説したII写真右上。

なお、1階ロビーでは農事組合法人大本が収穫したチカラ野菜の販売が、直会時には青少年部によるコーヒーパーザー、青松会による手作り味噌を使った味噌汁バーが催されたII写真右下。

東光苑大道場修行を開催

東光苑大道場修行は、2月22日から24日までの3日間、大本東京本部を会場に開催され、一般参加者4人を含む17人が受講した。

受講者は2階講座室で、亀岡・天恩郷での大道場修行の4日間の講座（「大本の出現」〜「大本の使命」まで）を受講した。また、食作法の実習や、ギャラリイおほもと東光苑でのお作品拝観なども行った。



東光苑オンライン講座

5月25日（日）19:00～



ようこそ大本の聖地・天恩郷へ

講師：穴井 真美（亀岡宣教センターメディア愛善宣教課員）



今から106年前、出口王仁三郎により買い取られた丹波亀山城跡は、大本の二つ目の聖地「天恩郷」として整備されました。「神さまの教えを世に広めるための中心地」「天上界における霊国の型」とも示される当地をご案内いたします。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

東光苑 葬祭研修会

～ご葬儀までの準備と大本葬祭式の司会執行～

日程 5月24日（土）午前9時30分（受付9時）

会場 大本東京本部・東光苑

内容 講話・葬儀執行の流れ

実習・招魂式、発葬式、火葬祭、家祭式
毎10日祭、50日合祀祭、霊璽の作り方

参加費 500円 ※食事代は別途徴収

霊祭部刊「葬祭式編」500円（お持ちでない方のみ）

持ち物 笏（お持ちでない場合はお貸しします）

大本祭式の本、笏をはさめる帯や紐、
記用具、動きやすい服装、足袋（履く方が動作が容易）

申込 氏名・所属・食事・宿泊・資料の可否を
記の上、下記までお申し込みください

東京宣教センター祭務課

Mail k-siino@oomoto.or.jp（担当・椎野）

Tel 03-3821-3701 Fax 03-3821-5283

締切 5月18日（日）

5月 東光苑祭典・行事予定

4日（祝・日）午前10時30分
教主生誕祭 三代教主・教主補聖誕祭

5日（祝・月）午前10時30分
開教133年 みろく大祭 遙拝祭

11日（日）午前10時30分
東光苑月次祭・市杵島姫命例祭

24日（土）
東光苑葬祭研修会

25日（日）午後7時
東光苑オンライン講座（配信）
講題 ようこそ大本の聖地・天恩郷へ
講師 穴井 真美
（亀岡宣教センターメディア愛善宣教課員）